

## 2002年度 修了生修士論文一覧

ボランティア活動の学校教育への導入過程に関する研究	石原茂雄
社会科と「郷土教育」に関する研究	
—桑原正雄の郷土教育論をもとに—	大島泰文
中国における「持続可能な開発」黄河中流域からの一考察	大廣光文
博物館と学校教育の連携	
～学習資料展の成果と課題～	緒方雪絵
通勤流動の変容からみた大都市圏郊外の発展パターン	
—京阪神大都市圏を事例として—	岸本裕
性教育におけるジェンダーバイアスの構造に関する研究	
—教育者のヒアリングを通して—	後藤公美
棚田利用の変遷と自然的基盤の関係	
—紀和町丸山千枚田と鴨川市大山千枚田を比較して—	佐波洋美
法曹関係者による司法教育の分析と展望	
—社会認識調査及びアンケート調査をふまえて—	座間隆
「社会科」と歴史教育に関する研究	
—酒井忠雄の社会科歴史教育論を手がかりとして—	菅一典
生涯学習社会における企業博物館の可能性	
～印刷博物館と紙の博物館を事例として～	杉戸聡子
青年の自己形成過程に関する考察—地域社会活動を通して—	鈴木佳菜
高校入試問題からみる歴史教育の学力	
—岐阜県公立高校入試問題(社会)の分析を通して—	坪内清次郎
初等中等教育における情報教育の指導に関する考察	
—新教科「情報」教材を中心として—	手塚透
稲作農村における農業の存続形態	
—新潟県笹神村を事例として—	中野理恵
昭和期「塾風教育」の理念と実践	
—最上共働村塾における農民教育のあり方をめぐって—	中山功一朗
北ヨーロッパとユーラシアとの結びつきを重視した世界史学習の展開	
～スウェーデンヴァイキングの交易活動を事例として～	濱野勇介
愛国主義教育基地の研究	
—中国における愛国主義教育と歴史遺産を生かした教育についての一考察—	原田博康
「地域からの世界史—カリブ海域史の教材化について—」	平丸貴久
新たな公共性の構築～ポスト・リベラリズムを手がかりに～	舟橋陽一
出荷戦略からみた大規模レタス産地の性格	村井亜希子
事例・判例を生かした法的問題解決学習の可能性	
—日米の学校現場における葛藤事例の比較を通して—	村野和子
国際政治における平和の論理	
—リアリズムにおける「ニヒリズム」を超えた新たな視点として—	山岸怜
高校生の学校参加に関する研究	
—学校部活動が生徒に及ぼす影響を手がかりにして—	渡邊朋人
「地理的な見方や考え方」の理論と実践	
—地理的スキル導入の試み—	西野守郎
英国におけるSchool History改革の研究	野口剛
ニューカマー生徒の進路選択と日本の学校	
—群馬県大泉町における日系南米人の事例を手がかりに—	吉松高史